

尋常  
小學  
作文

西村正三郎 合著  
杉山文悟  
漢字交文第一級

第一

改三指の口ち

一四六ノ一

T1A3

11

N 84



a 1 3 8 0 3 2 8 9 2 5 a

福岡教育大学蔵書

例言

一此書ハ尋常小學校ノ生徒ニ作文ヲ教授スルノ用ニ供  
セシガ為ニ編纂セルモノニシテ全部七冊ヲ分チテ漢  
字交リ文四冊、書牘文三冊トス。

一漢字交リ文四冊ハ第一學年ノ初ヨリ、第四學年ノ終リ  
マデ各一冊ヲ以テ一學年間ノ教授用ニ資シ、書牘文三  
冊ハ第二學年ヨリ、第四學年マデ各一冊ヲ以テ一學年  
間ノ教授用ニ資ス。

一作文教授ノ主旨ハ觀念ヲ表出スル文字ヲ以テ思想ヲ  
記述スルコトヲ得セシムルニアリ。故ニ生徒ガ日常見



聞セル事實ヲ文字ニ記述セシムルニ始リ、遂ニ進ミテ、自己ノ心中ニ起レル思想ヲ記述シテ、文章ヲ作ラシムルヲ以テ終ルモノトス。而シテ其見聞セル事實ト思想トヲ記述スルニハ、已ガ學修セル文字ノ力ニヨルモノナレバ、作文教授ハ、最讀方科ノ進歩ト關係ナキコト能ハズ、是ヲ以テ此書ヲ編纂スルノ順序ハ、生徒ガ次第ニ進歩スル智識發達ノ程度ト世間普通ニ行ハル、尋常小學讀本編纂ノ順序トニ從ヒタルモノナリ。

一此書ハ、已ニ世ノ教育家ガ論定セル作文教授ノ方法中、其善良ナルモノ各種ヲ擇ビタルモノナレバ、圖畫ヲ挿

入シテ觀察ノ資トナシ、以テ思想ヲ記述セシメ、文題文語ヲ與ヘテ之ヲ綴ラシメ、且談話體ノ文章ヲ他ノ文體ニ改作セシメ、誤謬及不完全ノ文章ヲ訂正セシムル等、其他種々ノ方法ヲ用ヒタリ。

一此書ハ、教師ノ教授用ニ充ツルノ目的ナレバ、每歩ノ首ニ教授法ヲ掲ゲタリ、而シテ各歩ゴトニ其教授法ハ異ナルモノトス。

一此書ノ文體ハ、生徒ガ最思想ヲ表出シ易キ談話體ヨリ、漸ク進ミテ文章體ニ移リ、以テ世間普通ニ行ハル、文章ヲ自由ニ記述スルヲ得セシメ、實用ニ適切ナラザル

文體ハ悉ク之ヲ用ヒズ。

一此書ニ於テ記述セシムル事柄ハ、專ラ生徒ノ經驗及思想外ノモノヲ避ケ、漢字交リ文ノ部ニテハ、生徒ガ日常親觀セル實物ノ名稱及最解シ易キ庶物ノ性質効用ニ關スル短句等ヨリ、稍進ミテハ修身、地理、歷史、理科等、生徒ガ每學年中ニ學修セル事柄ヲ以テ文題トシ、又書牘文ノ部ニテハ、日常ノ口上書類ヨリ、最實用ニ適切ナル日用ノ文題ヲ選ビ、強テ無用ノ文字ヲ用ヒズ、專ラ達意ヲ旨トシ、自由ニ普通ノ文書ヲ綴リ得セシメンコトヲ目的トセリ。

尋常  
小學作文卷一

田中登作 閱

西村正三郎

合著

杉山文悟

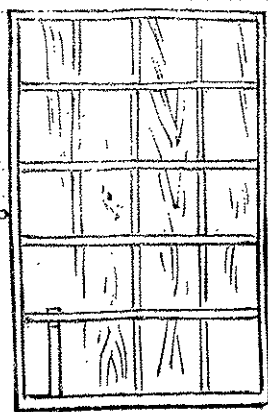
○第一步

(教授法)此ノ歩ニ於テハ、兒童ガ日常親觀スル實物ニソキテ、其名稱ヲ書取ラシメ、以テ作文ノ初步ヲ教フルモノナレバ、先ヅ讀書科ニテ學ビ得タル、片假名正音ノミニテ、書キ得ラルベキ圖畫、又ハ實物ニ就キテ、其名稱性質等ヲ問答シ、明ニ言語ニ發シ得タルノ後、之ヲ書取ラシムルナリ。

各課ニ於テ、新ニ書取ラシムル文字ハ、世間普通ノ尋常讀本ニテ、教フル順序ニ從ヒタルモノナリ。



第一トリス、キ、ク



練習

ス

十

ク

リ

1

)

✱

リ

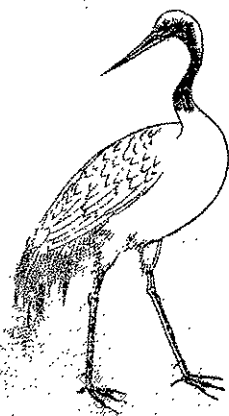
7

7

1.

)

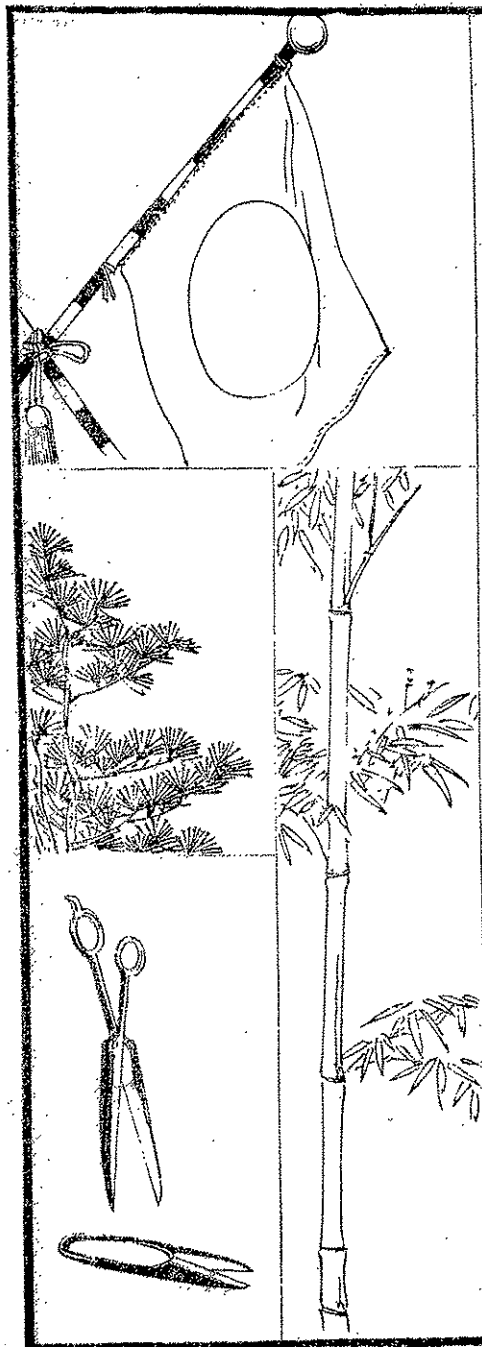
第二  
ナ、サ、ラ、ツ、ル



練習

ク	ラ	ク	サ	ツ	ナ	ク	ツ
ト	ラ	ツ	キ	ス	ナ		

第三 ハミ、マ、タ、ケ



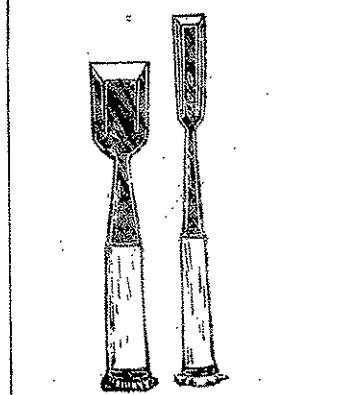
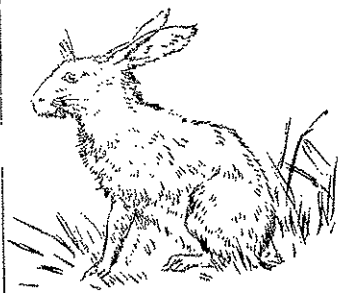
練習

ハ	ナ	ハ	ラ	ミ	キ	マ	リ
クル	マ	タ	ル	ナ	ミ	ケ	マ
タ	ナ	タ	ハ	ミ			

第四 シ、ヤ、ノ、ギ、ウ



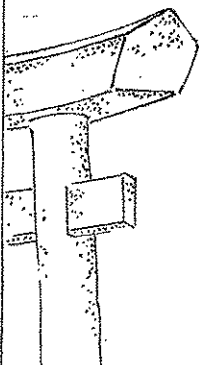
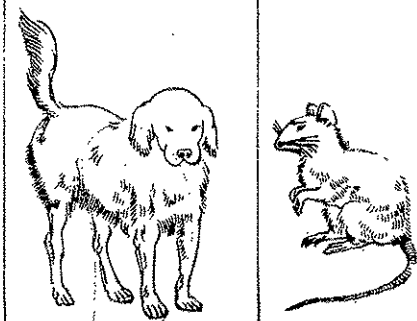
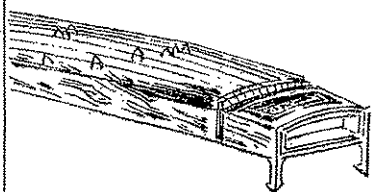




練習

ハ	シ	ラ
シ	マ	ヤ
リ	ヤ	ス
リ	ス	リ
ノ	リ	ミ
ミ	ノ	ハ
ハ	ギ	ウ
ウ	ミ	シ
シ	ウ	ミ

第五 イ、井、コ、メ、ズ、ヅ

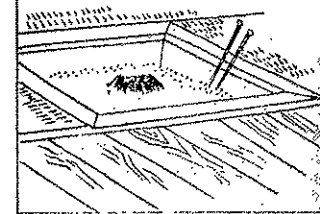
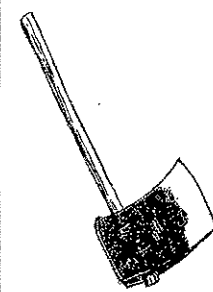
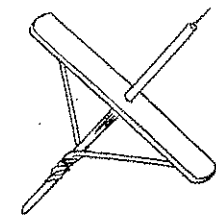


練習

イ	ケ	ト	ケ	イ	井	ノ	シ	ハ	コ	マ
ノ	コ	ギ	リ	メ	リ	ヤ	ス	ウ	メ	ス
ス	ミ	リ	マ	ナ	イ	タ	イ	リ	マ	メ
ミ	ヅ	イ	レ	ミ	ヅ	イ	レ	ミ	ヅ	イ







練習

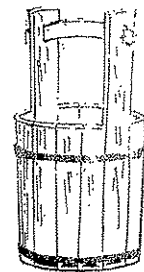
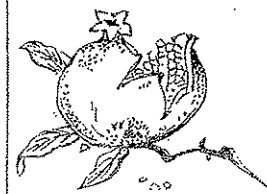
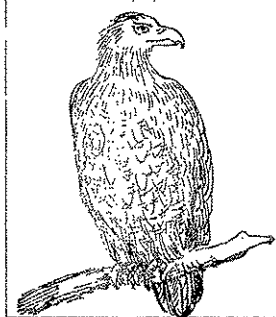
ア メ ア サ リ ア チ ク ロ マ メ

コ ロ モ チ キ モ ノ オ リ モ ノ

ハ オ リ ク ダ ト ダ ナ ヨ ル

モ ミ オ モ ダ カ

第八 以テ、ヌ、ザ、ト、ビ



練習

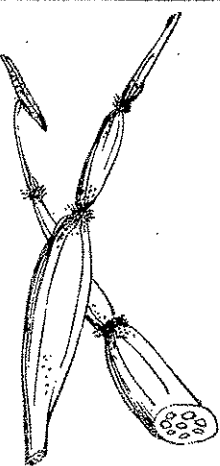
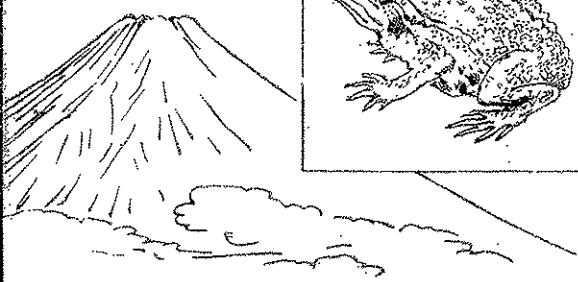
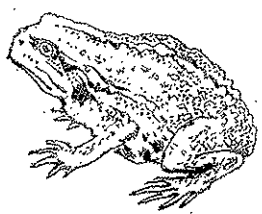
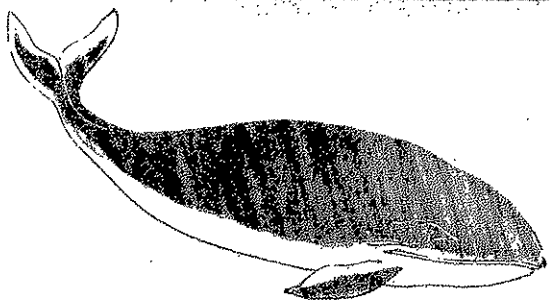
ワ ラ ジ ワ ニ ソ ロ バ シ ナ シ テ シ

テ ツ ビ シ テ シ ビ シ ウ ラ ア ガ ミ

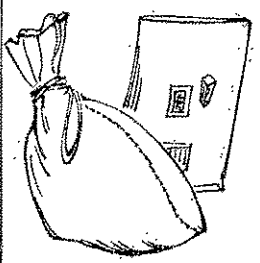
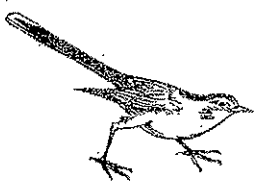
ザシキカマドウンドンオビ

ツリガヲ

第九  
ゴ、ジ、セ、レ、ニ、ガ、フ



練習



ゴ  
マ  
トリカゴ  
キ  
ジ  
ヒ  
ジ  
キ

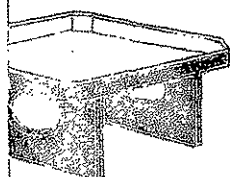

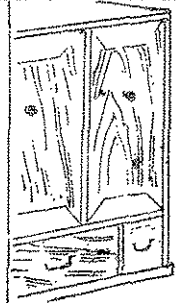
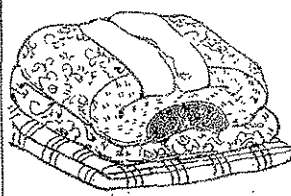
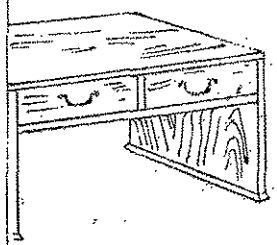
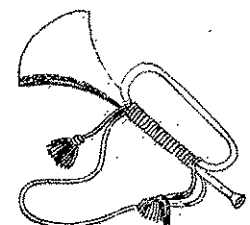
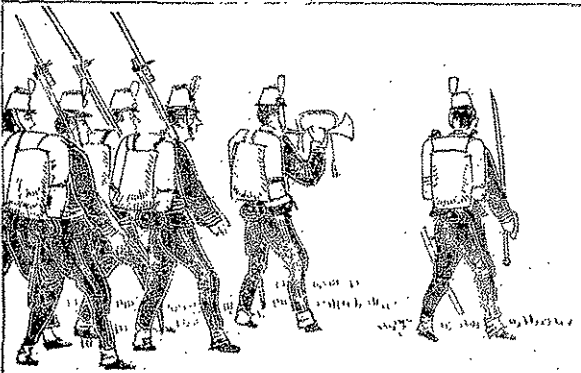
セ  
ミ  
セ  
リ  
レ  
ン  
ギ  
ノ  
レ  
ン

ニ  
シ  
ニ  
シ  
ガ  
ン  
ガ  
ラ  
ス

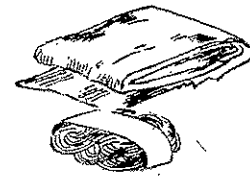

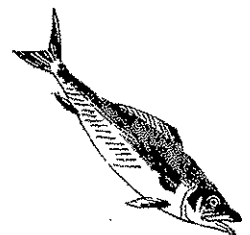


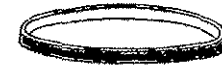


フ	キ	フ	ス	マ	ミ	ヅ	ガ	メ	フ	ロ	シ	キ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

第十七ホヘ工ダ工ハ



練習			
			
			
			
ヘ	ゼンマイ		
ビ	イカ		
ヘ	ゼ		
チ	ホタル		
マ	エノグ		
エ	ニシキエ		
ノ			
グ			

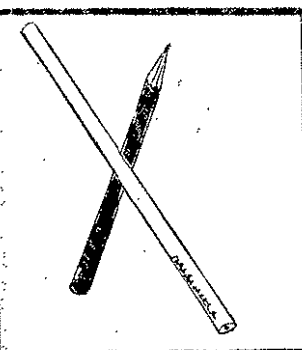
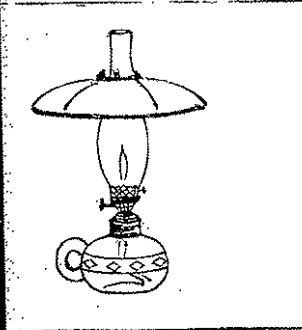

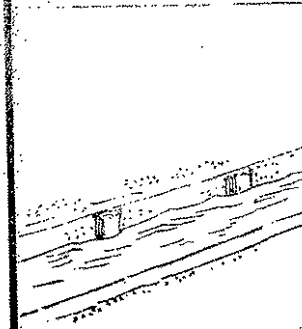
ヤ	第	ブ	エ	ノ	エ
グ	十	ユ	ム	キ	リ
ラ	一	ベ	ム	エ	マ
グ		ム	デ	コ	キ
ン				ン	
カ				パ	
ツ				ス	
パ					

練習

ブリ	シブカミ	ユ	キ	ベ	ニ
カ	ム	ロ	ム	ス	メ
ツ	ボ	ツ	ボ	ツ	ボ
フ	デ	ン	シ	ン	キ
ボン	ボリ				

第十二

			
---	--	---	---

練習

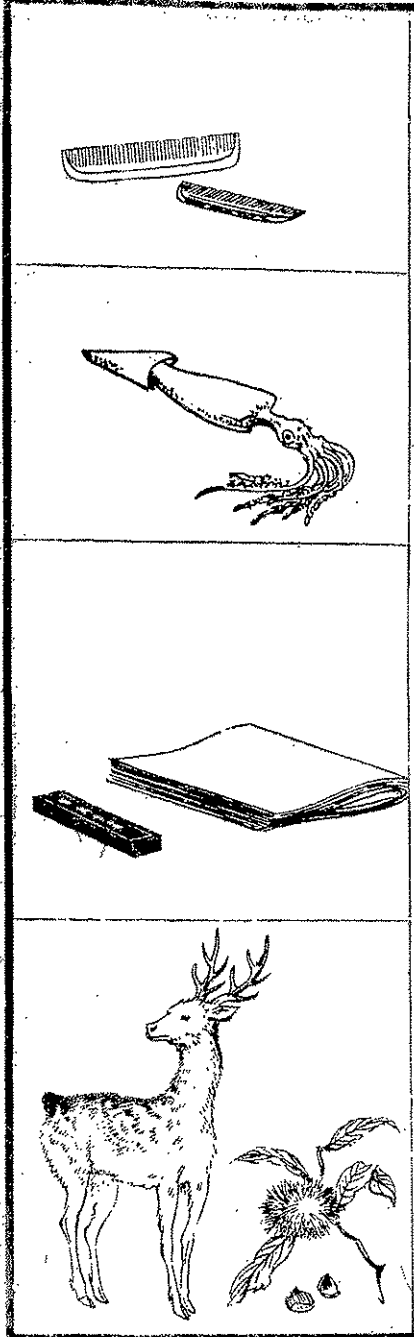
ガン	ン	ピ	チ	ン	ピ
ミ	ゾ	レ	タ	ン	ポ
コ	ツ	プ	ソ	ツ	プ

○第二步

教授法 此ノ歩ニテハ、平假名ニテ清音濁音ヲ交フル  
庶物名ヲ書取ラシム。其教授ノ方法ハ、前歩ニ同シ。  
練習ノ欄中ニ、及ノナル接續詞ヲ用ヒタル、短句ヲ出

シタルハ、兒童ノ思想漸進ミタルト、又、廢物名ノミヲ書取ラシムルハ、徒ニ兒童ノ厭倦ヲ來スベケレバナリ。故ニ之ヲ教フルニ、能ク廢物ノ關係ヲ問答シ、二箇ノ實物ヲ俛セ稱スルニハ、之ノ詞ヲ用ヒ、廢物ノ部分等ヲ稱スルニハ、之ノ詞ヲ用フル等ノコトヲ、詳ニ了解セシムベシ。

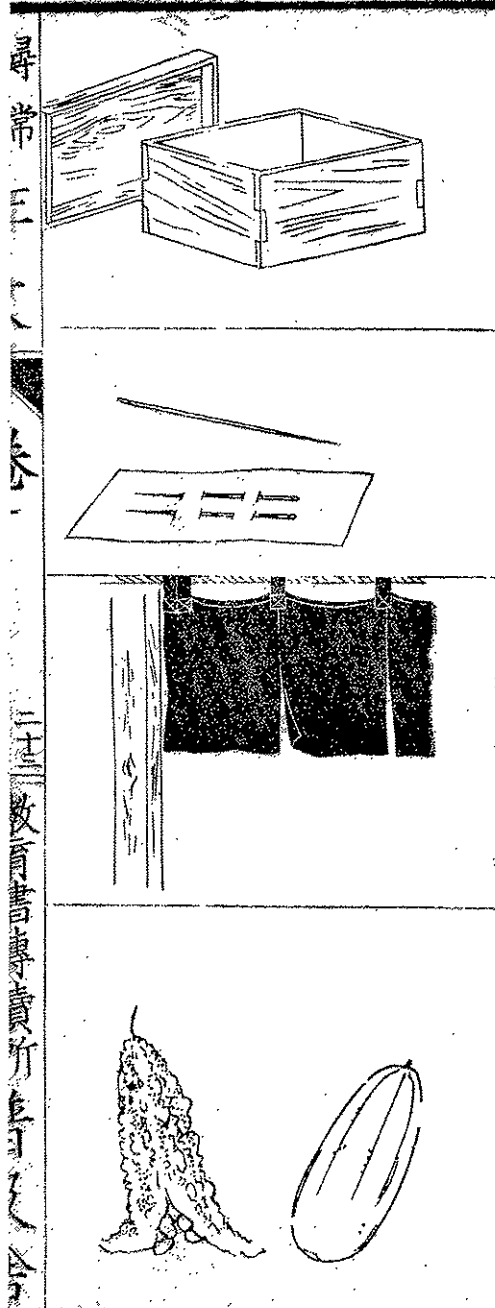
第一 し、くり、に、すみ、か



練習

い	す	り	く	か	す	み	か	り
か	み	ト	す	み	くり	ト	ー	か

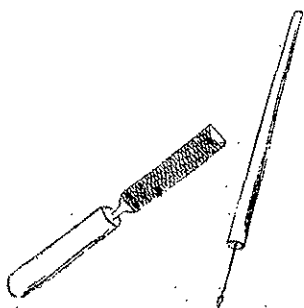
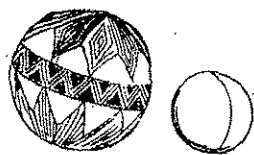
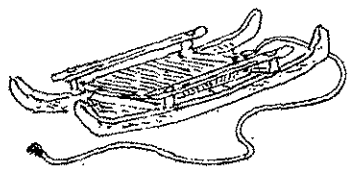
第二 の、う、ん、れ、こ、は、ら



練習

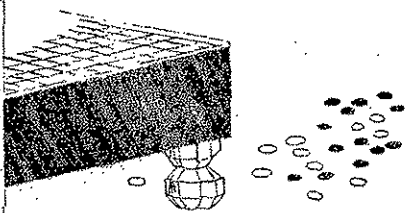
の ら ん み り ん の り  
の れ ん ト は ら り ト れ い  
は こ ト は り

第三 りとてやまきね



練習

と り み り いとまきやね  
いねかりや まてまりとはね  
さりとやすり。いねとかま。  
第四 つさるにをてばご

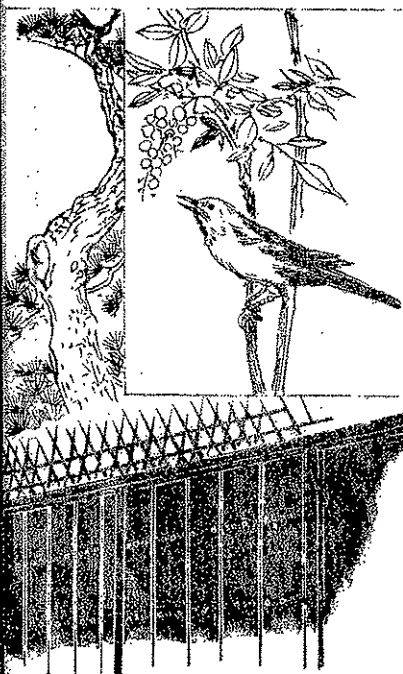
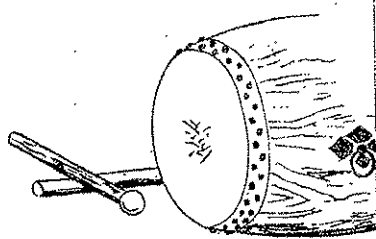




練習

つ	ら	さ	ら	か	る	や	ま	ご	と	く
さ	を	ば	ん	に	ん	ご	い	ー	と	ご
か	つ	を	と	さ	さ	さ	る	と	か	に

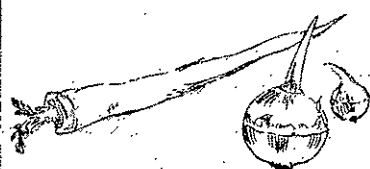
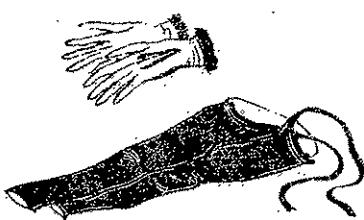
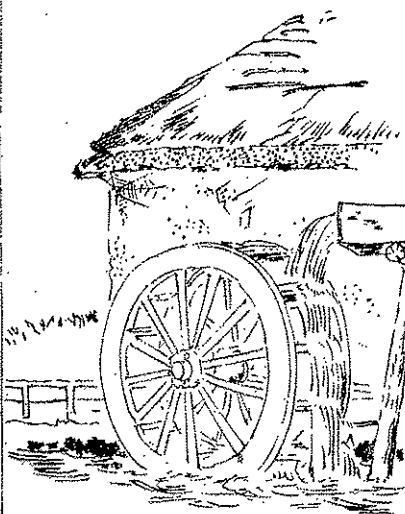
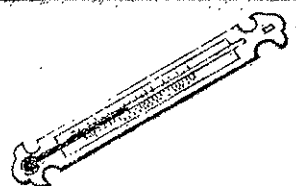
第五へ、た、ち、よ、ど、ひ、ふ、ぐ



練習

へ	た	ち	り	め	ん	よ	こ	み	ち	う	ど
ひ	ら	め	ふ	る	い	た	い	こ	と	ば	ち
ま	つ	と	へ	い	み	き	と	ね			

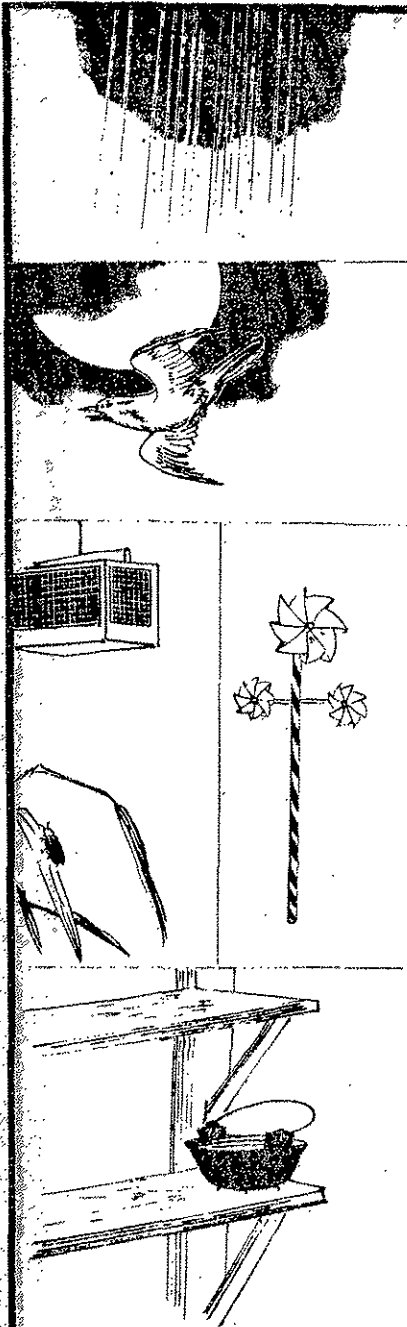
第六あ、け、ど、だ、ぶ、も、づ、わ、る



練習

る	ど	け	ー	に	ト	だい	こん
も	ひ	き	と	て	ぶ	く	ろ。
か	ん	だ	ん	け	い	の	くだ。
く	わ	る	と	に	ん	ト	ん。
は							

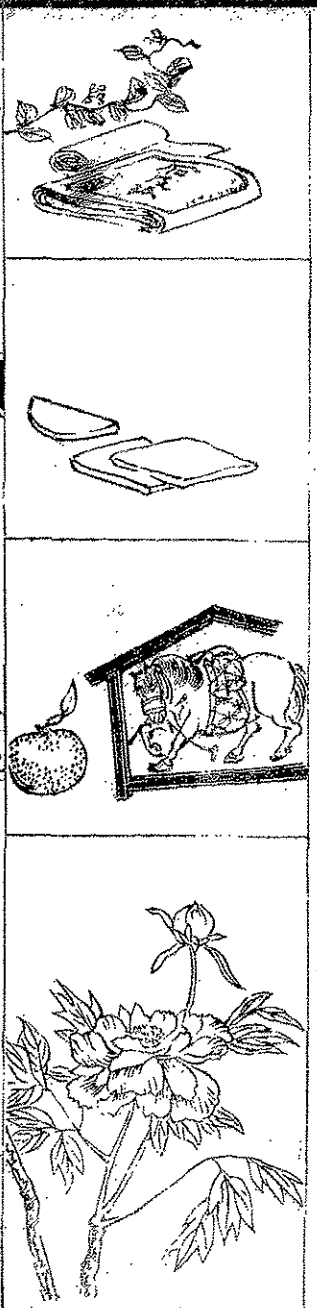
第七 ぎ、ほ、ぎ、に、り、め、あ、な、べ



練習

かん	ざ	ー	ひ	に	あ	な	ぐ	ら	つ	る	べ
き	り	ぎ	り	す	こ	に	だ	あ	め	こ	み
に	り	ぎ	く	な	つ	め	つ	き	と	ほ	と
な	た	ね	の	は	な	な	べ	の	つ	る	

第八 び、ゆ、ず、せ、え、へ、び、が、ぼ



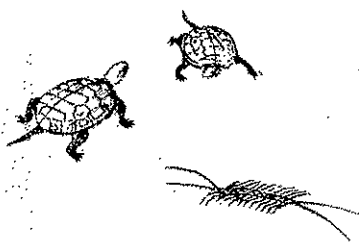
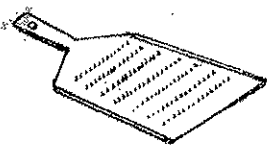
練習

た　び　ゆ　ど　の　せん　べ　い　と　は　ん　ぺ　ん。

す　ず　め　せん　す　ゆ　ず　と　み　か　ん。

ゑ　か　き　は　つ　び　ゑ　ま　と　す　ゝ。

第九　ぬ　む　た　ぜ　げ　ち　ば　ぶ　ぽ



練習

ぬ　か　む　ね　き　つ　ぶ　ぱ　つ　ち

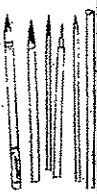
た　も　こ　ざ　せん　ま　め　た　ん　ぽ　の　は　な。

こ　ま　げ　た　ち　ー　ん　む　ト　な　の　け。

第十　一　二　三　四　五　六　七　八　九　十



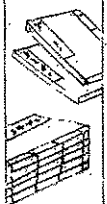
四　つ



六　ぽ　ん



一　ろ　く



七　さ　つ

十二　まい　の



五　り　ん　の



八　まい　の



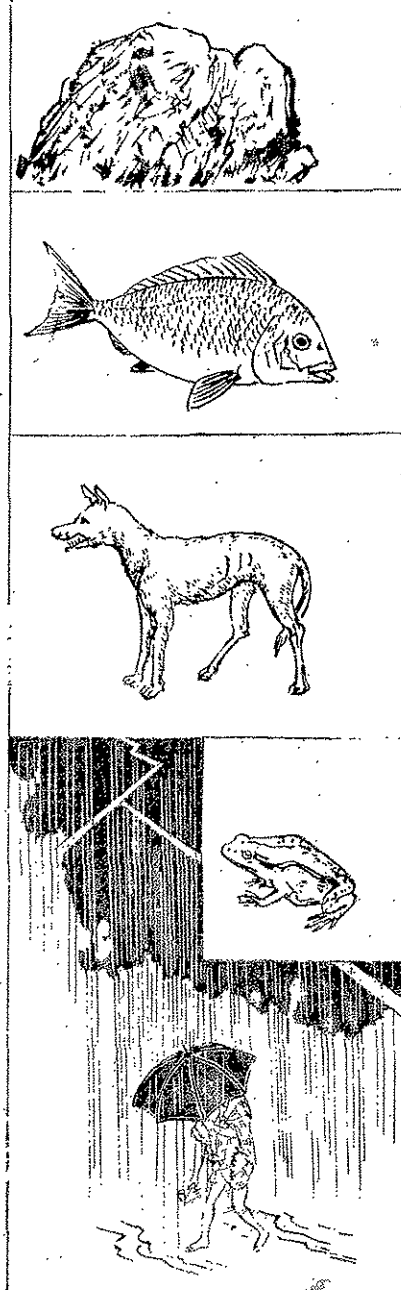
三　ば

九ひき

○第三步

教授法 此ノ歩ニテハ、音便、拗音及字音ヲ交ヘタル廢物名、及短句ヲ書取ラシム。之ヲ教フルニハ、先ヅ實物ニ就キテ、其性質等ヲ問答シ、次ニ其廢物ヲ書取ルニ必要ナル、音便、拗音字音ヲ教ヘテ、單語短句ヲ綴ラシムベシ。練習ノ欄中ニ掲ゲタル、形容詞ヲ有スル廢物名ヲ書取ラシムルニハ、初メ形容詞ニ關スル問答ヲ為シ、之ガ觀念ヲ惹起シ、然ル後實物ニツキテ問答ヲ為シ、生徒ヲシテ、自ラ形容詞ト單語トヲ聯結シテ、短句ヲ綴ラシム。短句ノ中ニ圖畫ヲ挿入シタルハ、之ヲ文字ニ換ヘ、又點線ヲ施シタルハ、適宜ノ文字ヲ挿入セシムルモノナリ。

第一 ハッ ヒィ フウ ヘエ ホオ



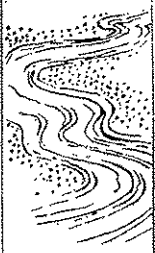
練習

カ	ハ	ナ	ハ	シ	ロ	ニ	ハ	ト	リ	ク	ハ
ウ	グ	ヒ	ス	カ	ヒ	コ	カ	レ	ヒ	コ	ヒ
ア	フ	ヒ	ナ	ヘ	イ	ヘ	カ	ナ	ヘ		

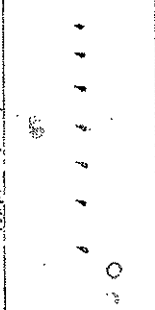
形容詞

ナガイ (ナガキ ヒロイ 広口キ オモイ 牙モキ)  
ミジカイ (ミジカセ マイセマキ) カロイ (カロキ)

ながき



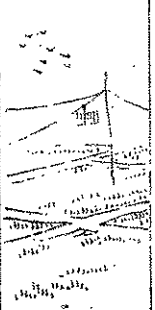
みどかき



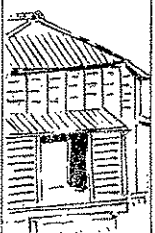
.....

なへ。

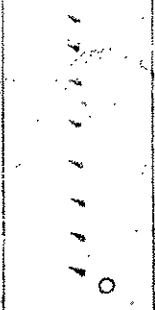
せまき



せまき



ねもき



かるき

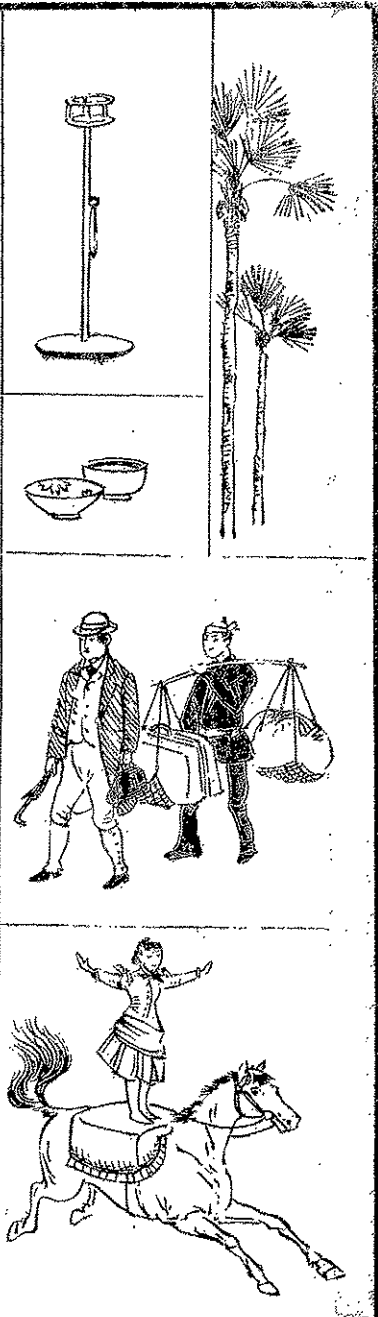
.....

ひろき

.....

第二

シユ ジュ ショ チョ  
キヨ ギヨ ジヨ リヨ



練習

シユス

エンジユ

シユズミ

ジユンサ

キンギヨ

シヨモツ

シンジユ

モクギヨ

ジユバン

ジネンジヨ

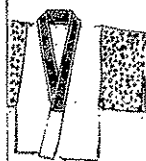
形容詞

フトイ (フトキ アツイ アツキ シロイ (シロキ)  
ホソイ (ホソキ ウスイ (ウスキ クロイ (クロキ)

あつき



うすき



ふとみ

.....。

.....ちよく。

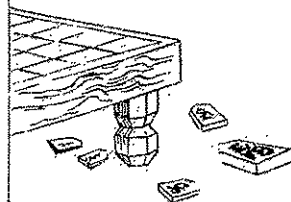
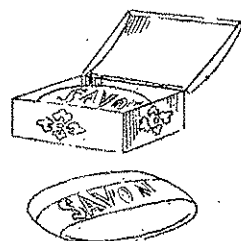
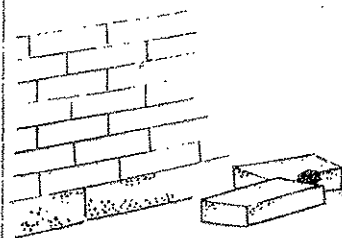
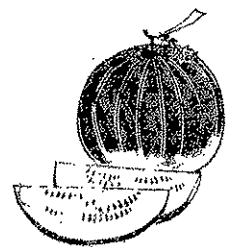
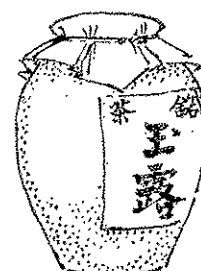
くろき

.....。



第三

シヤジヤミヤキヤチヤ  
ニヤリヤクワグワ



練習

シヤシン

ジンリキシヤ

キヤクジンクジヤク

チヤワン

クワンヌキヤク

ワンジシヤク

クワシ

ヒシヤク

形容詞

ウツクシイ (ウツクシキ) アカイ (アカキ) アマイ  
(アマキ) カタイ (カタキ) ヤハラカイ (ヤハラカキ)



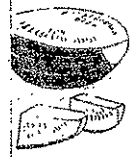


のはな。すゐくわの……。

くどやく。

くわし。

あかき



たもき……。

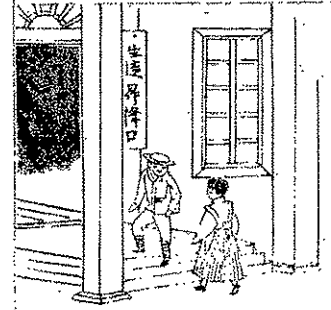
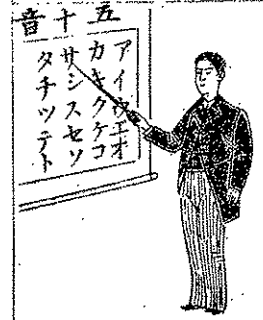
ちやつぽ。



かたき……。

やはらかき……。

第四 アウ、イウ、カウ、ケウ、  
ワウ、コウ、レウ、



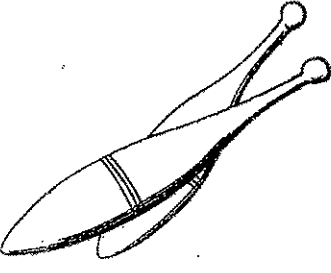
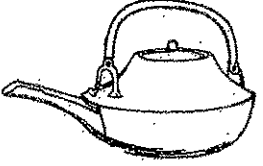
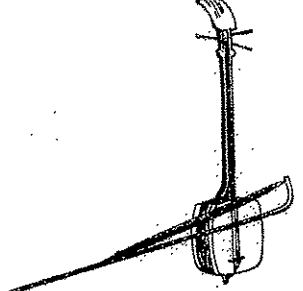
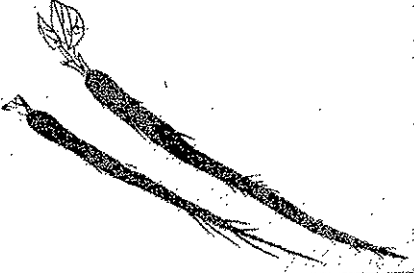
練習

いーほ かーろ けーろーつ ゆわーう

れーろ こーろやく けーろーの……。

ゆわーろ あーむの……。

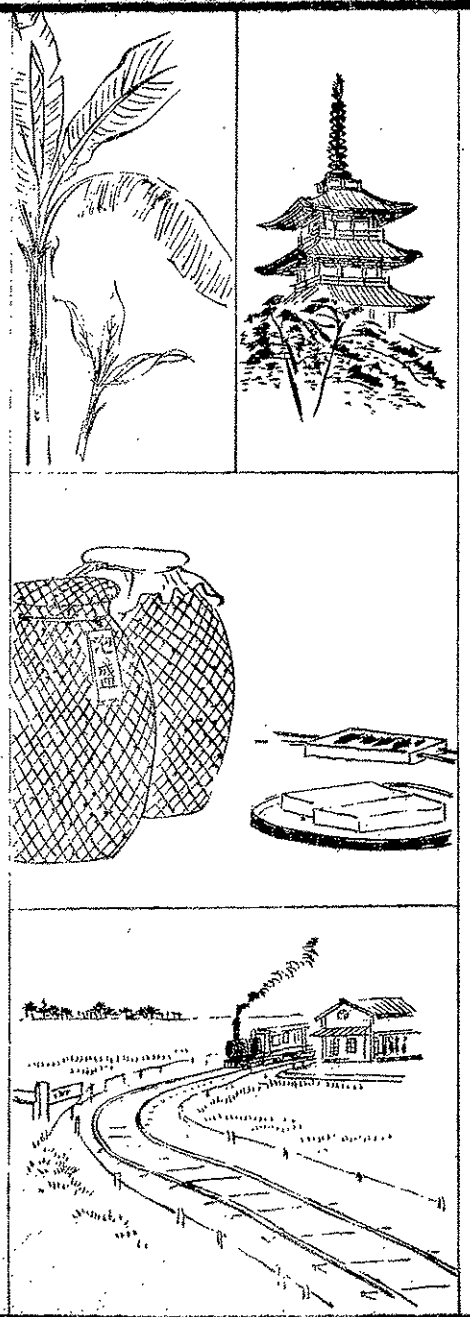
第五 ハウ、バウ、ホウ、ボウ、テウ、テフ、  
リウ、キウ、ギウ、キフ、シウ、ジウ

			
ハフリツ	バーウシ	ねもき	うのう
ホウバウ	サイホウ	くろま	.....
テーフ	リウキウ	てうーと	.....
スギウ	シーウジ	.....	ばうし

ホウネン の .....

第六

トウ タウ  
タフ セウ  
チウ デウ



練習

ごうこ  
ぶだう  
さたう  
かいだう

こせうとさんせう せうちうまんちう

形容詞

カライ (カラキ) スイ (スキ)  
シロイ (シロキ) クロイ (クロキ)

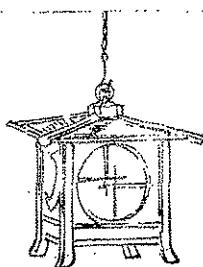
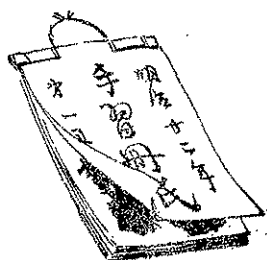
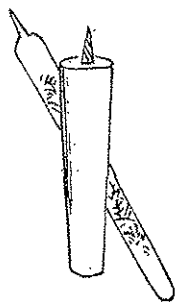
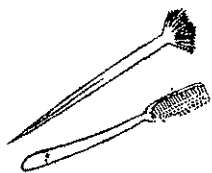
たかき ..... すき ..... のふさ。

..... てつだう。 ..... ーろき ..... 。

からき ..... こと ..... まんちう。

第七

ヤウ ヨウ ロウ ラウ  
ラフ サウ ガウ ガフ



練習

ざふきん やうかん ざうり せいちう

ふよう たいやう ..... のとうろう。

らうどん らうか らうどんの ..... 。

やうふく はきさうど。

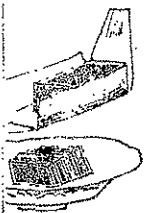
らうどんが あゆむ。



ろろろくは……



を……



は……らうかが……

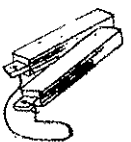
第八

ノウ ナウ ヘウ  
ペウ シウ ジフ



がはたらく。へうたんの……

……かんぺう。めなりの……



をたく。れもき どうのう。

……しうしんよ しうかいだうが……

第九

キヤウ ギヤウ  
チヤウ チヤウ



のはな あつま



ながき



……まやうだい

うすき



をもつ

第十

シヤウ ジヤウ ミヤウ  
ビヤウ リヤウ チエウ

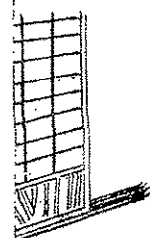
しやうぎの……。

からき



をあける。

びやうにんが……。



……びやうぶ。



の……。

りやうがけを……。



を……。

○第四步

教授法 此ノ歩ニ於テハ、前歩ニテ教ヘタルモノヨリ、  
稍長キ短句ヲ綴ラシム。故ニ其教授法ノ如キモ、前歩ニ  
於ケルト異ルコトナシ。  
練習ニ於ケル短句ニハ、談話體ト文章體トヲ混ジタレ  
バ、時ニヨリテ、適宜ニ之ヲ教フベシ。

第一 短句

いぬが かける。



が にげる。

ねこは……をとる。

いぬは……をまもる。

練習

いぬは、ねこをたふ。

ねこは、いぬをみてにげる。

よきねこと、わるきいぬ。

第二短句

……へゆくこども。



がくからより……。



を……。

もんどを……。

練習



このこは、がくから、ゆく。

うつく、きほん

きれいに、もんどをかく。

第三 短句



は、はやく……。



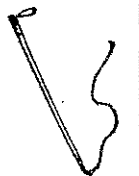
は、……。

ひと



をもつ。

こども



を……。

練習

こどもが、うまふのる。

ひとが、うーをひく。

ひとの、にゆく。

こども りこへゆく。

第四 短句



が、つばさにて……。



は、ひれ ふて……。

ひと



を……。

こども



を……。

練習

とり は りら を とぶ。

さかか は みづ ふ れよく。

てつぼう ふて、 とり を うつ。

つりぎを にて、 うををつる。

第五 短句



をつく。



を……………。



を……………を……………。

練習

をんなのこやりをつく。

をそここのこ……………。

すわるをんかのこ。

はいるをとこのこ。

第六 短句

この  はあたらしくある。

あの  は……………。

……………つくえと……………。

……は、ひがーから……。



のこゑが、……。



のはねは、……あります。

### ○第五歩

**教授法** 此ノ歩ニテハ、漢字ヲ交ヘテ、短句及短文ヲ教フルモノナリ。其教授ノ方法ハ、圖畫若クハ實事ニ就キテ、生徒ノ思想ヲ惹起セシメ、次ニ其實事ヲ顯ハスニ必要ニシテ、已ニ讀書科ニテ學ビ得タル漢字ヲ教ヘテ、之ヲ綴ラシム。

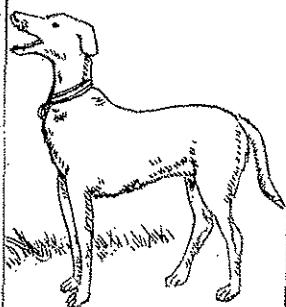
此ノ歩ニ記セル短句、及短文中、（印ヲ施セルハ、漢字ニテ書キ、……ヲ施セル所ハ、假名ニテ書クモノトス。毎課新ニ教フル漢字ハ、普通ノ尋常讀本ニテ、用ヒ來レル順序ニ從フモノナリ。

第六課ヨリ以下ハ、一箇ノ短句、若クハ短文ヲ綴リ得ベキ、名詞勸詞ノ類ヲ與ヘテ、生徒自ラ隨意ノ事實ヲ綴ラシムルニアリ。

### 第一犬、大人、小木

（オホキ）ナ、……ガタツ。

……ガホヘル。



( ) が はたらく。

……にて ( ) をきる。

(オホキ) ナ……ガ タフレル。



練習

(ヒト) ガ……ノ シタ ニ……。

(イヌ) ガ……ト トモ ニ……。

( ) ノ ウヘニ、トリ ガ……。

(オホキ) ナ……ト、(チヒサキ) ……。

第二 山川、水、上、下

(ヤマ) ニ……シゲル。

(カハ) ニ ウヲ……。

(ヤマ) ノ (シタ) (ニ) ( ) アリ。



(キ) ノ (ウヘ) ニ、ハナ……。

(カハ) ノ キシニ、クサバナ……。

練習

タカキ（ ） ト フカキ（ ）

ヤマノ（ ） ニ、 シカ……………。

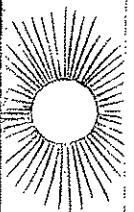
（ヤマ）ノ シタニ、 カリビト……………。

フカキ（ ） ニハ……………ウヲ……………。

（ミヅ）ノ ウヘ ニ……………ウカズ、

チヒサキ（ ） アツマリテ……………カハ

第三 日、月、夜、出



ハ、 ヒルヲ テラス。



ハ、（ ） ヲ テラス。

（ツキ）モ、（ヒ）モ、 ヒガシヨリ……………。

練習

（ヒ）ノ ヒカリハ、（ ）ノ ヒカリヨリ



ツヨシ。

(ツキ)ノイヅルヨルヲ、( )トイフ。

(ツキ)ノイデサル(ヨル)ヲ、………トイフ。

コン( )ハ、ハレタル( )デアル。

トシノハジメノ(ツキ)ヲ、( )トイフ。

ツキノハジメノ(ヒ)ヲ、( )トイフ。

四季ノ分、二月ヲ教フ  
第四 父母、男、女子

ヨキ人モ、ヤマイニヨリテ、シスル  
コトアリ。

明治二十二年二月廿日印刷  
同 年二月廿日出版

定價金拾三錢

版權  
所有



著者

東京下谷區西町二十四番地

西村正三郎

著者

東京下谷區西黑門町廿三番地寄留

杉山文悟

發行者

東京下谷區練堀町十四番地

辻敬之

印刷者

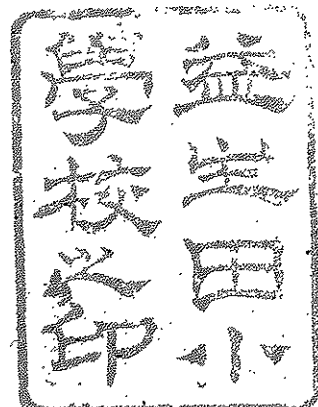
東京下谷區徒士町壹丁目七番地

沼尻為作

發兌

東京下谷區練堀町十四番地

普及舍



明治22  
x 21